

# 2022年度キャリアデザイン学部

キャリア体験自己推薦入学試験・グローバル体験公募推薦入学試験

## 小論文 問題

次の文章は、アメリカ合衆国の科学史家であるトーマス・クーンの著書「科学革命の構造」(中山茂訳、みすず書房)の一部です(表現は一部改変)。本書では、科学の発展に関する従来の捉え方に疑義を唱えています。よく読んで、以下の二つの問いに答えなさい。

著作権者の許諾を得ていないため、問題は掲載いたしません。  
なお、出典情報は次のとおりです。

「出典情報」

出典…『科学革命の構造』より

「第一章 序論…歴史にわたる役割」(一～四頁)

著者名…トーマス・クーン

中山茂(訳)

出版社名…みすず書房

### 第一問

傍線部に「累積による発展」という科学観にもとづいてはやっていけないことだんだん気が付いた」とある。その後、科学に対する考え方はどのようなものからどのようなものへと変化していったのか。本文の記述をもとに二百字以内で説明しなさい(縦書き、句読点も字数を含む)。

### 第二問

大学での学びを、教科書から知識を得るような学びにとめないようにするために、自らどう学んでいくか。新しい考え方を持った科学史家の発想を参考に、四百字以内で自分の考えを述べなさい(縦書き、句読点も字数を含む)。